

REVIVAL4000

SIGNATURE ANALOGUE
CHANNEL STRIP

ユーザーガイド



Solid State Logic

O X F O R D • E N G L A N D

SSL ウェブサイトをご覧ください : www.solidstatelogic.com

©Solid State Logic

国際著作権条約およびパンアメリカン著作権条約に基づき、すべての権利はSolid State Logicに帰属します。

SSL[®] および Solid State Logic[®] は、Solid State Logic の登録商標です。

Revival 4000[™] は Solid State Logic の商標です。

その他の製品名および商標は、それぞれの所有者の財産であり、ここにその権利を認めます。

本書のいかなる部分も、Solid State Logic (Begbroke, OX5 1RU, England) の書面による許可なしに、機械的または電子的な手段を問わず、いかなる形式においても複製することはできません。

研究開発は継続的なプロセスであるため、Solid State Logicは、本書に記載された機能および仕様を予告なしに変更する権利を有します。

Solid State Logic は、本マニュアルの誤りまたは欠落に起因する直接的または間接的な損失または損害について、一切の責任を負いません。

すべての指示をよくお読みになり、安全警告に特にご注意ください。

改訂版 1.0 - 2025年8月

初回発行

Japanese version August 2025

実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。
また性能の向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © Solid State Logic Japan K.K. 2025

Visit SSL at: www.solid-state-logic.co.jp

目次

概要	4
はじめに	4
機能	5
インストール	5
解凍	5
ラックマウント、熱と換気	5
安全に関する注意事項	5
ハードウェアの概要	6
フロントパネル	6
背面パネル	6
接続の概要	7
チュートリアル	8
電源	8
入力段	8
マイクブリアンプ&ライントリム	8
ワンノブ・デエッサー	9
ダイナミクス	9
コンプレッサー/リミッター	10
ゲート/エキスパンダー	11
フィルター	11
イコライザー	12
ルーティング	13
バランスド・インサート	14
出力段とメーター	14
シグナルフローオプション	15
サイドチェーン処理	18
仕様	19
コネクタの詳細	19
サイズ等	19
電源	20
オーディオ性能	20
ブロック図	24
安全に関する注意事項	25
重要な安全情報	25
製品保証等	28

概要

はじめに

SSLコンソールの伝統が詰まった決定的なサウンドを、Revival 4000で体験してください。キャラクターと汎用性に富んだオールインワンアナログチャンネルストリップです。BシリーズとEシリーズのコンソールから最も評価の高い回路が初めて融合し、スタジオ制作のための究極のアナログチャンネルストリップを実現しました。

4000シリーズは音楽制作に革命を起こし、数多くの伝説的なレコードを生み出し、新たな業界標準を確立しました。

そのすべては希少な SL 4000 B コンソールから始まりました。1976年に発売され後にロンドンのタウンハウス・スタジオに導入された4000 Bは、ピーター・ガブリエルの「Intruder」や、フィル・コリンズの画期的なゲートドラムが印象的な「In the Air Tonight」などのヒット曲制作に使用されました。

これが、史上最も影響力のあるミキシングコンソール、SL 4000 Eの基礎となりました。1979年に発売された4000 Eは、アビーロード、エレクトリック・レディ、ヒット・ファクトリーなどの伝説的なスタジオの心臓部となり、Hugh Padgham (David Bowie, Paul McCartney, The Police)、Chris and Tom Lord-Alge (James Brown, The Rolling Stones, Santana)、Andy Wallace (Prince, Bruce Springsteen, Nirvana)などのエンジニアたちが、世代を超えたサウンドのシグネチャーを作り上げることを可能にしたのです。

革新的なチャンネルストリップ設計、切れ味がするどくありながら音楽的なEQ、力強いコンプレッションを備えた4000 Eは、レコードの制作方法を変革し、プラチナセールスを記録するヒット曲に不可欠なクリアさと一体感を提供し続けています。その特徴的な集中したミッドレンジのクリアさ、比類ない精度、そしてチャンネルとバスコンプレッションの独特な接着力とパンチは、ポピュラー音楽のサウンドそのものとなりました。

4000 EのEQとダイナミクス処理を初めて使用したプロデューサーとエンジニアからのフィードバックは一致していました：

「これは驚くほど音楽的で直感的なツールだ。」

録音とミキシングのプロセスを真に理解した人々によって設計されたこの機材は、ミスが許されない時代において、エンジニアとプロデューサーに安心感を与えました。ミスが致命傷となる時代において、4000 Eはクリエイティブなビジョンの実現を格段に容易にしました。

Bruce SpringsteenやMadonnaからDr Dreや Daft Punkまで、ほぼすべてのジャンルのアーティストがその特徴的なサウンドに頼ってきました。

1996年までに、ビルボードチャート1位を獲得した曲の83%がSSLコンソールで制作されていました。

4000シリーズは音楽を変えただけでなく、今日まで続く伝説を残しました。

いくつかの伝説は消えていくものですが、4000シリーズは不滅です。

Revival 4000を使用し、今こそその豊かな遺産を活用し、世代を定義づけてきたレコードで聴かれるのと同じパンチ、存在感、そして精密さをあなたのミックスに与えましょう。



機能

- クラシックSSL 4000 E Jensenトランスフォーマーバランスドマイクプリアンプ
- 音楽的なワノブ 4000 B ディエッサー
- +48V、極性反転、パッドおよびライン入力
- Ultimate 4000 Eシリーズ ダイナミクス
 - ▶ ディスクリートクラスA VCAコンプレッサー
 - ◇ ソフトまたはハードニーモード
 - ◇ ファーストアタックオン/オフ
 - ◇ Logまたはリニアリリースモード
- クラシックゲート/エクスパンダー
 - ▶ ファーストアタックオン/オフ付き
- クラシック 4バンド SSL EQ
 - ▶ 完全パラメトリックなミッドバンド
 - ▶ 切り替え可能なブラウンノブ『02』とブラックノブ『242』 EQ回路
- ハイパスフィルターとローパスフィルター
 - ▶ ブラウンノブ『02』モード – 12dB/オクターブ HPF & LPF
 - ▶ ブラックノブ『242』モード – 18dB/オクターブ HPF & 12dB/オクターブ LPF
- 外部デバイスを信号経路に接続するためのインサートポイント（バランス）
- 豊富なサイドチェーン機能
 - ▶ ダイナミクス・サイドチェーン用のフィルター
 - ▶ EQをダイナミクス・サイドチェーンに接続
- 柔軟な処理順序のルーティング
 - ▶ フィルター、EQ、ダイナミクス、ディエッサーの接続順序切替オプション、インサートポイントの切替
- ライン出力トリム
- 入力/出力メーター切り替え可能
- 外部サイドチェーン（キー）入力
- ダイナミクスサイドチェーンリンク – 2台のRevival 4000コンプレッサーをステレオペアとして動作可能

インストール

開封

本機は慎重に梱包されており、箱の中には以下のアイテムが入っています。

- ▶ リバイバル 4000
- ▶ ご使用の国に対応したIEC電源コード
- ▶ 安全シート

万一、製品を修理に出す必要が生じた場合に備えて、元の箱と梱包材は必ず保管しておいてください。

ラックマウント、熱と換気

リバイバル 4000は、プロデューサーのデスクや類似のラックに設置するための1U、19インチのラックマウント型機器です。機器の上下部に通気スペースを確保し、リバイバル 4000で発生する熱が自然に放散されるようにしてください。機器のシャーシの側面には切り欠きがあり、絶対に塞いだり覆ったりしないでください。取り扱い前に必ず機器を冷却させてください。

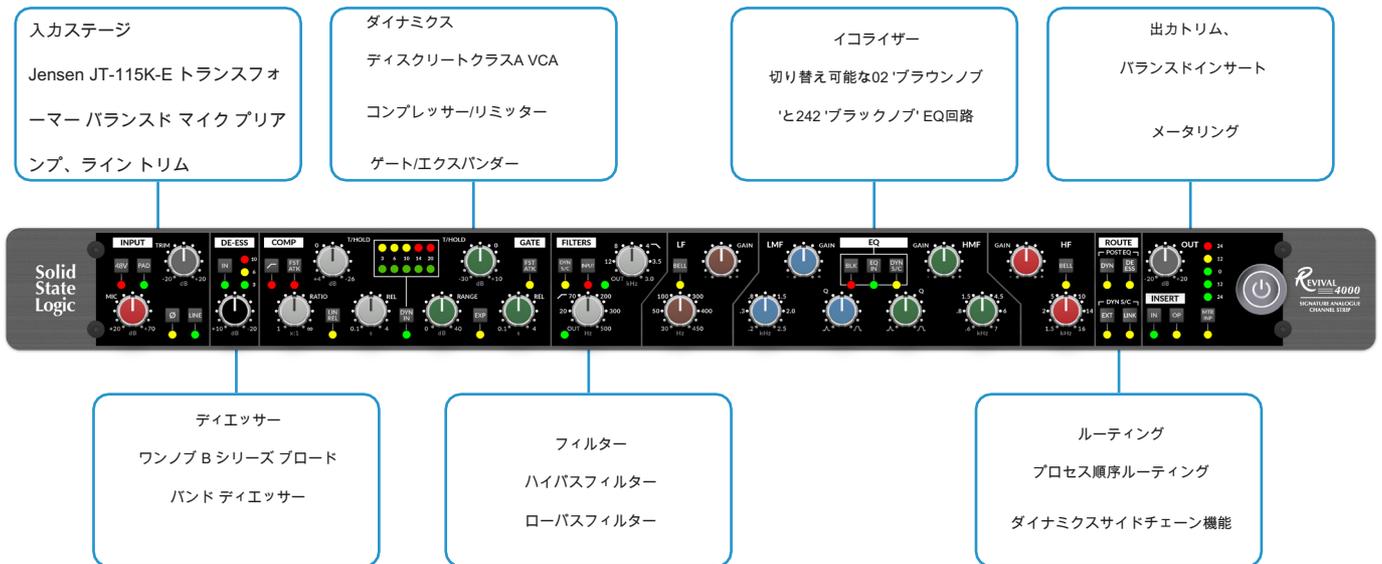
安全注意事項

Revival 4000を使用する前に、箱内の安全シートに記載されている安全注意事項をご確認ください。この情報は、このユーザーガイドの付録セクションにも掲載されています。

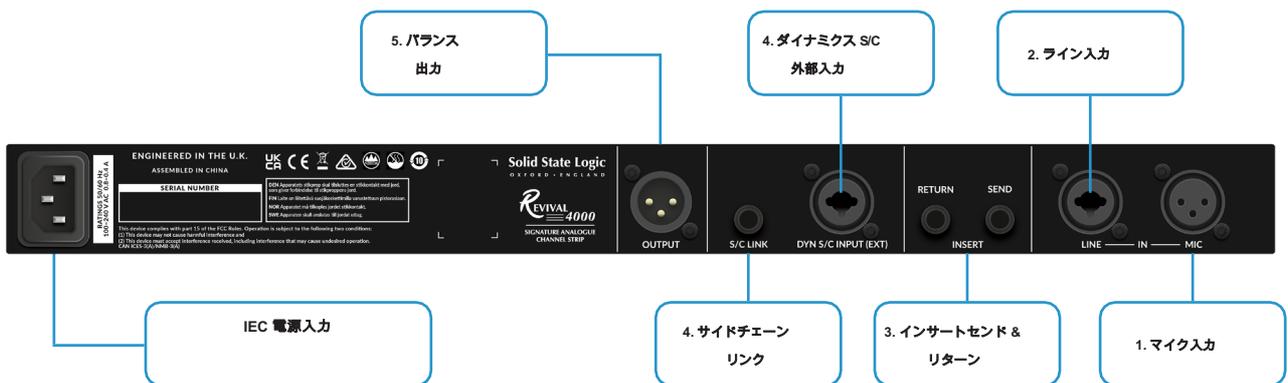
ハードウェアの概要

このページでは、Revival 4000 ハードウェアの概要をご説明します。チュートリアルセクションでは、各コントロールについて詳しくご説明します。

フロントパネル



リアパネル



接続の概要

1 - マイクフォン入力

メス XLR

MIC INは、マイク信号用です。

2 - ラインレベル入力

コンボ XLR/TRS ジャック

LINE IN と表示されたコンボ XLR/TRS ジャックは、シンセサイザーや DAW 出力などのラインレベル信号用です。

3 - インサートセンド&リターン

TRSジャック

「INSERT SEND」および「INSERT RETURN」と表示された TRS ジャックは、Revival 4000 の信号経路にラインレベルの外部アナログ処理機器を組み込むためのものです。インサート端子はバランス型です。

4 - ダイナミクス・サイドチェーン外部入力

コンボ XLR/TRS ジャック

DYN S/C INPUT (EXT) と表示されたコンボ XLR/TRS ジャックは、ダイナミクスサイドチェーン（キー入力）の外部ラインレベル信号用です。

5 - サイドチェーンリンク

TRS/TSジャック

S/C LINK と表示された TRS/TS ジャックは、2 台の Revival 4000 ユニットのステレオペア使用時に、コンプレッサーのサイドチェーン信号をリンクするために使用できます。

6 - バランス出力

オス XLR

OUTPUTと表示された XLRコネクタはラインレベル出力です。

この端子をご使用の DAW 録音システム（オーディオインターフェース/コンバーター）やミキシングコンソールなどのラインレベル入力に接続してください。

チュートリアル

電源

ユニットの右側にある銀色の電源ボタンを押して電源を入れます。



入カステージ

マイクプリアンプ & ライントリム

Revival 4000は、オリジナル4000 E-Seriesコンソールに搭載されているのと同じJensen JT-115K-Eトランスバランスプリアンプ回路を採用しています。

MIC

マイクプリアンプコントロールは、+20 dBから+70 dBのゲインを提供します。このコントロールはラインレベル入力パスに影響しません。

48V

+48Vのファンタム電源を提供し、一部のコンデンサーマイクやアクティブリボンマイクに必要です。

PAD

マイクプリアンプのゲインコントロールの前に 20 dB のパッドを挿入します。高感度/高出カレベルのマイクに使用し、ゲインを少なくする必要がある場合に便利です。

Ø

Ø（極性）ボタンは極性を反転させ、フェーズキャンセルが発生する可能性のあるマルチマイク録音源に便利です。選択された入力パス（マイクまたはライン）に影響します。

LINE

入力ソースを後部のパネルにあるラインレベル入力（LINE IN）に切り替えます。マイクプリアンプの後段から入力されます。そのため、LINEが選択されている間はMICコントロールは機能しません。

TRIM

ライントリムは、マイクプリアンプゲインの後段に追加の±20 dBのクリーンゲインを提供します。このコントロールは、LINEが選択されている場合、ラインレベル入力パスにも影響します。



ワンノブ・ディエッサー

ディエッサーセクションは、4000 B コンソールのチャンネルコンプレッサー/リミッターから採用されたオリジナルのディエッサー回路を採用し、10:1 のレシオと 7 kHz のハイパスフィルター付きサイドチェーンを搭載しています。音楽性の鍵となる要素は、回路設計がSSLバスコンプレッサーの設計を模倣している点（ただしサイドチェーンに追加のフィルタリングが施されています）にあります。これは、過激なボーカルやドラムのオーバーヘッドをマイルドにするような場合に最適です。

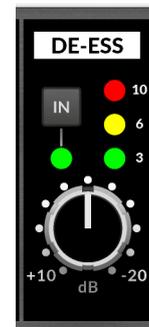
IN

ディエッサー回路のオン/オフを切り替えます。

THRESHOLD

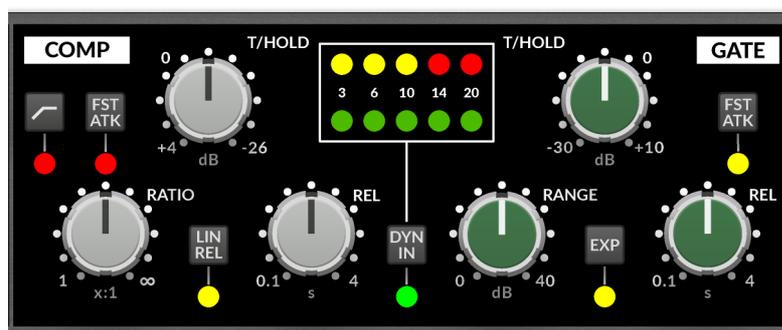
+10 dBから-20 dBまでのThresholdにより、過激な「シツ」（歯擦音）を抑えるためのディエッサーの量を調整できます。ボーカルやドラムのオーバーヘッドに最適です。3つのLEDがディエッサーの量（3 dB、6 dB、10 dB）を表示します。

デフォルトでは、ディエッサーは信号フローの前段（ダイナミクスとEQの前）に配置されていますが、ROUTEセクションのDE-ESS POST EQボタンを使用して、EQの後段に再配置可能です。



ダイナミクス

コンプレッサー/ゲート設計は、オリジナル4000 E-Seriesチャンネルストリップのサウンドを定義した回路とコンポーネントを忠実に再現しています。サイドチェーンには真のRMSコンバーターを採用し、ゲインリダクション要素はオリジナルコンソールで使用されたClass A VCAチップと同一の全ディスクリット設計です。コンプレッサーには、ソフトニーカーブを無効化するスイッチングオプション、ファストアタックモード、ログまたはリニアリリースカーブを選択する機能も搭載されています。これにより、E-Seriesコンソールで録音・ミックスされた数多くのクラシックレコードに貢献した、多様なキャラクターを持つコンプレッサーを実現しています。



オリジナル E-Series チャンネルストリップと同様に、フィルターおよび/またはイコライザーセクションをダイナミクスサイドチェーンにアサインすることで、コンプレッサーが反応する信号に対してさらに技術的または創造的な操作を行うことができます。例えば、コンプレッサーのサイドチェーンで低域をフィルタリングすることは、ベースの重い音楽において特に重要です。これは、フィルターおよび EQ セクションの DYN S/C ボタンをオンにすることで実現できます。ダイナミクス・サイドチェーンは外部入力からもソースとして使用可能です。詳細はROUTEセクションをご確認ください。

デフォルトでは、ダイナミクスセクションはイコライザーよりも処理順序が先ですが、DYN POST EQボタンを有効にすることで逆順に変更できます（4000シリーズコンソールユーザーは、このボタンが「CH OUT」と表示されている事に慣れているかもしれません。）。処理順序とサイドチェーンオプションの詳細は、ユーザーガイドの「シグナルフローオプション」および「サイドチェーン処理」セクションで説明されています。

ステレオソースに2台のRevival 4000ユニットを使用している場合、S/C LINKにより複数のユニットのサイドチェーン制御信号をリンクできます。詳細については、ユーザーガイドのルーティングセクションを参照してください。

DYN IN

ダイナミクスセクション（コンプレッサー/リミッターとゲート回路）のオン/オフを切り替えます。

コンプレッサー/リミッター

RATIO (圧縮比)

1:1に設定すると、コンプレッサー/リミッターセクションが非アクティブになります。コントロールを時計回りに回すと圧縮比が増加し、完全に時計回りの位置で真のリミッターとして機能します。

コンプレッサーは通常、ソフトニーです。  ボタンをオンにすると、これがハードニーに変更され、よりアグレッシブなキャラクターのモードになります。

T/HOLD (スレッシュホールド)

このコントロールで設定されたレベルを超える信号が入力されると、コンプレッサーはRATIOコントロールで設定された比率で動作を開始します。このコントロールは自動メイクアップゲインも提供するため、閾値を下げ圧縮を強めると、出力レベルが上昇し、圧縮量に関わらず安定した出力レベルを維持します。

REL (リリースタイム)

信号が最大値を超えた後、コンプレッサーが通常のゲイン設定に戻るまでの時間（速度）を設定します。

FST ATK(ファーストアタック)

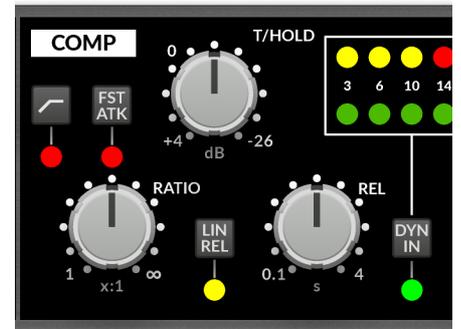
アタック時間を短縮します（20 dBのゲインリダクションで3 ms）。オフ時はアタック時間が遅く、よりマイルドな動作になります（20 dBのゲインリダクションで30 ms）。

LIN REL(リニアリリース)

リリースカーブをログからリニアに変更します。これにより、スレッシュホールド値が6dB上昇します。

ゲインリダクションLED

LED ディスプレイ領域の上部にある黄色と赤色の LED は、ゲインリダクション（コンプレッション）を示します。



ゲート/エキスパンダー

Expander/Gate セクションは、∞ : 1 ゲートとして機能するか、EXP スイッチを押すと 2:1 ダウンワード・エキスパンダーとして機能します。

RANGE

ゲインの深さ（ゲートまたはエキスパンダーの深さ）を決定します。反時計回りに最大まで回すと(0dB)、Expander/Gateセクションは非アクティブになります。時計回りに最大まで回すと、40 dBのRangeが得られます。

T/HOLD（スレッシュホールド）

スレッシュホールド回路にはヒステリシスが組み込まれています。任意の「オープン」設定に対して、Expander/Gateの「クローズ」Threshold値は低くなります。Threshold値が低下するにつれてヒステリシス値は増加します。楽器音の減衰が「オープン」のThreshold値を下回るまで待ってからゲートやエキスパンダーが動作するため、音楽録音にとってはとても有用です。

REL（リリース）

これは、ゲート/エキスパンダーがThreshold値を下回った後に信号レベルを減少させる時間（速度）を、0.1～4秒の範囲で調整します。このコントロールはRANGEコントロールと相互作用します。

FST ATK（ファーストアタック）

高速なアタック時間（Range 40 dB, 100 μs）を提供します。オフの場合、Range 40 dBで1.5msのアタック時間が選択されます。

アタック時間は、信号レベルがThresholdを超えた時にエキスパンダー/ゲートが「オープン」するまでの時間です。ドラムのようなエッジを持つ信号をゲート処理する場合、遅いアタックは音の立ち上がりをマスクする可能性があるため、適切なアタックモードを選択する必要があります。

ディスプレイ部の緑色のLEDは、エキスパンダー/ゲートの動作（ゲインの減少量）を示します。

フィルター

オリジナルEシリーズ・チャンネルストリップと同様に、ハイパスフィルターとローパスフィルターが搭載されています。両方のフィルターコントロールにはバイパススイッチが組み込まれており、コントロールを完全に反時計回りに回すとバイパスになります。どちらかのコントロールを時計回りに回すと、そのフィルターが回路に接続され、コントロールの隣のLEDが点灯してON状態を示します。

フィルターは通常EQの後段に配置されていますが、入力ステージ直後（ポスト・インサート）やダイナミクス・サイドチェーン内に再配置可能です。両方のフィルターは通常12dB/オクターブのスロープですが、EQセクションのBLKスイッチを押すと、ハイパス・フィルターのスロープが18dB/オクターブに変更されます。

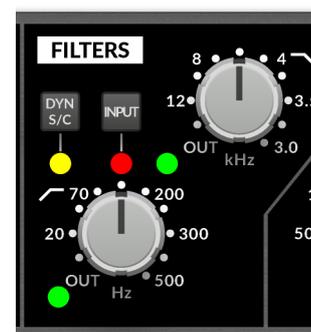
DYN S/C

フィルターをダイナミクスセクションのサイドチェーンでの使用に切り替えます。イコライザーも独立してサイドチェーンに切り替えることができます。DYN S/Cは下記のINPUT機能をオーバーライド（無効）にします。

INPUT

フィルターを入力段の後ろに配置します（インプットステージとインサートポイントの後、ディエッサー/ダイナミクス/EQの前）。

これにより、ダイナミクスやEQの前段で信号をクリーンアップするためにフィルターを使用できます。



イコライザー

Revival 4000のイコライザーセクションは、初期のEシリーズコンソールに標準搭載されていたオリジナルの「ブラウンノブ」回路をデフォルト設定としています。2つのパラメトリックミッドバンドセクションは、SSLのクラシックなログカーブ対称設計を採用しており、 $\pm 3\text{dB}$ の上下ポイントが、周波数と振幅の設定に関わらず、中心周波数から同じ音楽的間隔を保持します。2つのシェルビングセクションは伝統的な6dB/オクターブ設計で、固定Qのベルカーブオプションが用意されています。『02』EQ（正式名称）は、1980年代初頭に数多くの録音とミックスで使用されました。

1983年、George Martinと共同で、AIRスタジオに初めて設置されるSSLコンソール用に新しいEQ回路『242』が開発されました。

この「ブラックノブ」EQは、カットおよびブーストレンジが強化され（ $\pm 15\text{ dB}$ から $\pm 18\text{ dB}$ へ）、異なる制御法則、および低周波数をより厳密に制御するための18 dB/オクターブのハイパスフィルターが搭載されていました。この設計は、**BLK** スイッチを押すことで有効になります。



前述のように、EQ セクションにはいくつかの機能ボタンがあります。

EQ IN

EQ セクションをONに切り替えます。

BLK

EQをブラウンノブ『02』操作からブラックノブ『242』操作に切り替えます。

DYN S/C

EQをダイナミクスセクションのサイドチェーンでの使用に切り替えます。フィルターセクションはEQセクションとは独立して切り替えることができます。フィルターとEQの両セクションがダイナミクスサイドチェーンに割り当てられている場合、フィルターセクションがEQの前に配置されます。

BELL

LFとHFをシェルビングからベルカーブへ切り替えます。

ルーティング

ROUTEセクションは、処理順序とサイドチェーンルーティングの複数の可能性を提供します。

DYN (POST EQ)

ダイナミクスセクションをEQの後ろに移動します。

DE-ESS (POST EQ)

ディエッサーセクションをEQの後に移動します。

EXT (DYN S/C)

ダイナミクス・サイドチェーンを外部（キー）入力から取得できるようにします。この入力は、リアパネルの DYN S/C INPUT EXT コンボ XLR/TRS ジャック入力に接続されます。FILTERS TO DYN S/C および EQ TO DYN S/C が有効になっている場合、外部サイドチェーンソースに影響を与えます。

LINK

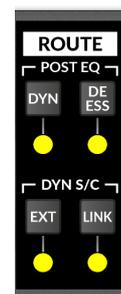
2台のRevival 4000ユニットを、ユニットの背面にあるS/C LINK TRS/TSジャック接続で接続した場合、フロントパネルのLINKボタンを押すことでサイドチェーン制御信号がリンクされます。2つのダイナミクスセクションがリンクされると、各セクションの制御電圧が加算され、ゲイン減衰量が最も大きいセクションがもう一方を制御します（最も大きな信号が優先されます）。

これは、2台のRevival 4000をステレオペアとして使用する場合に特に有用で重要です。これにより、ミックスの左側または右側のいずれかに存在する最も大きな信号に対して、両方のチャンネルが均一に反応します。これにより、一方の側が他方よりも強く圧縮されることでステレオイメージがずれたり「揺れ」たりするのを防ぎます。最も大きな信号が両方のコンプレッサーで同じゲインリダクションをトリガーすることで、ステレオバランスが安定し音楽的な響きを保ちます。これは、ドラム、ギター、またはミックスバスなどのバスで、固くパンチのあるステレオイメージを保持するために不可欠です。

この方法でリンクする際には、以下の点に注意が必要です：

- 2つのユニットをリンクする際には、TRSまたはTSジャックのどちらを使用しても構いません。
- 両方のユニットのLINKボタンがオンになっていることを確認してください。
- 両ユニットのフロントパネルのコンプレッサーコントロール位置、ボタン状態、およびコンプレッサーへのゲインステージングを、手動で一致させてください。
- フロントパネルのダイナミクス用LEDメーターは、個々の内部サイドチェーン信号を継続的に表示しています。

したがって、フロントパネルのゲインリダクションLEDは、一方のユニットが他方よりも強く圧縮されているように見える場合があります。しかし、上記のすべてのステップが正しく行われていれば、実際にはコンプレッサーは安定したステレオイメージを維持しています。LEDが個々のサイドチェーン信号を継続的に表示していることは、どちらのサイドチェーン信号が「優位」で、コンプレッションを駆動しているかを判断できます。



バランスド・インサート

Revival 4000 は、信号チェーンに追加のアウトボード機器を組み込むためのインサートポイント（バランス回路）を備えています。SEND と RETURN TRS ジャックはユニットの背面に配置されています。

IN

SSLの伝統に従い、インサート・センドは常にアクティブであり、INボタンを押すことでリターンパスが有効になり、処理されたオーディオを信号経路に挿入します。

OP

デフォルトでは、インサートポイントは入カステージの直後、ディエッサー、Dynamics、EQ、およびフィルターの前段に位置しています。OPボタンを押すと、インサートポイントが処理チェーンの最後（上記すべてのセクションの後）に移動し、これはOutput Trimコントロールの直前段になります。

出カステージとメーターリング

OUT

専用の出カトリムは、信号チェーンの最後に追加の±20 dBのクリーンなゲインを提供し、バランス出力から出力される信号レベルを制御します。

メーター

5つのLEDが、以下のポイントで信号レベルを表示します：

- +24 dBu
- 12 dBu
- 0 dBu
- -12 dBu
- -24 dBu

MTR INP

通常、メーターはチャンネルの出力を測定しますが、MTR INPを選択すると、入力セクション直後の信号を表示します。



シグナルフローオプション

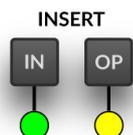
メイン信号経路の信号処理要素の順序を制御する4つのスイッチがあります。

これらは、Filters INPUT/ DYN POST EQ/ DE-ESS POST EQ/ INSERT OP です。多くの処理順序の組み合わせが可能です。

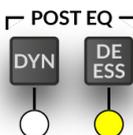
デフォルト
ボタンが押されていません



INSERT OP



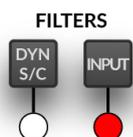
DE-ESS POST EQ



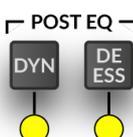
DYN POST EQ



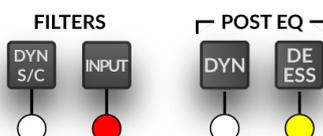
Filters INPUT



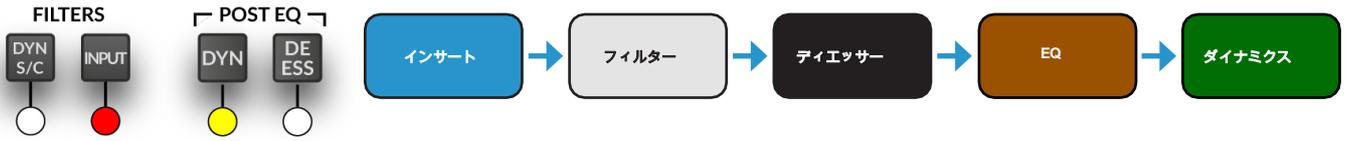
DE-ESS & DYN POST EQ



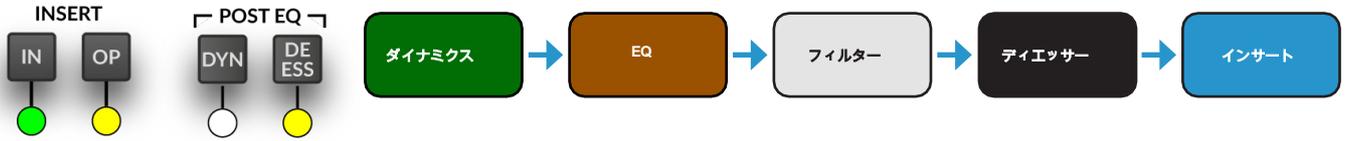
Filters INPUT、DE-ESS POST EQ



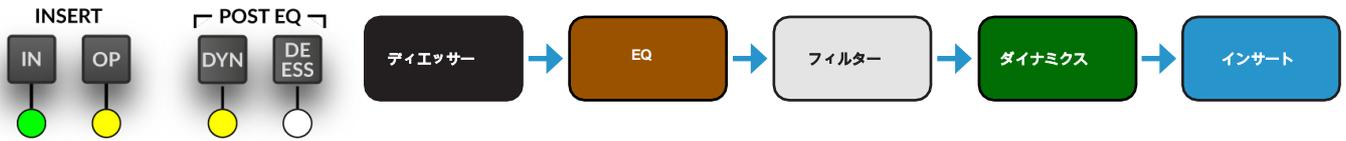
Filters INPUT、DYN POST EQ



INSERT OP、DE-ESS POST EQ



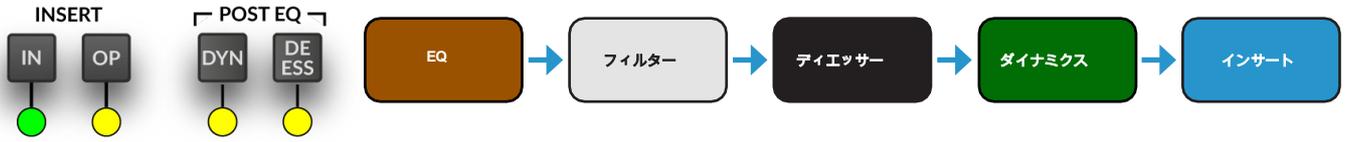
INSERT OP、DYN POST EQ



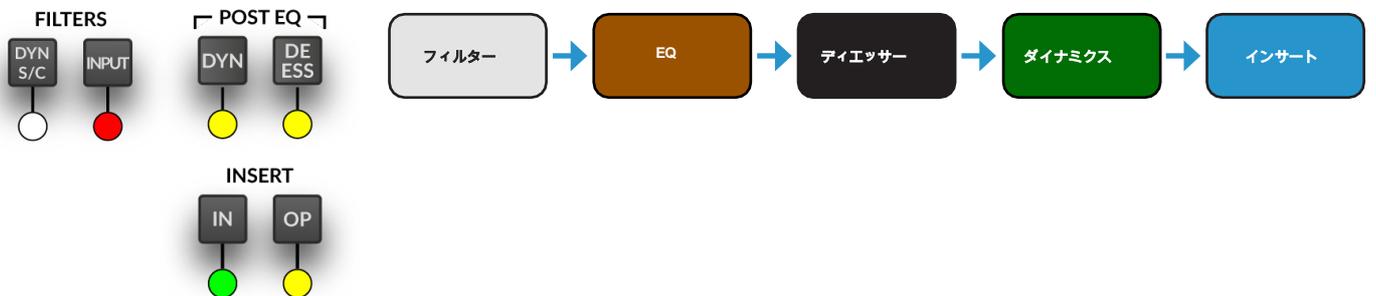
Filters INPUT、DYN POST EQ、DE-ESS POST EQ



INSERT OP、DYN POST EQ、DE-ESS POST EQ



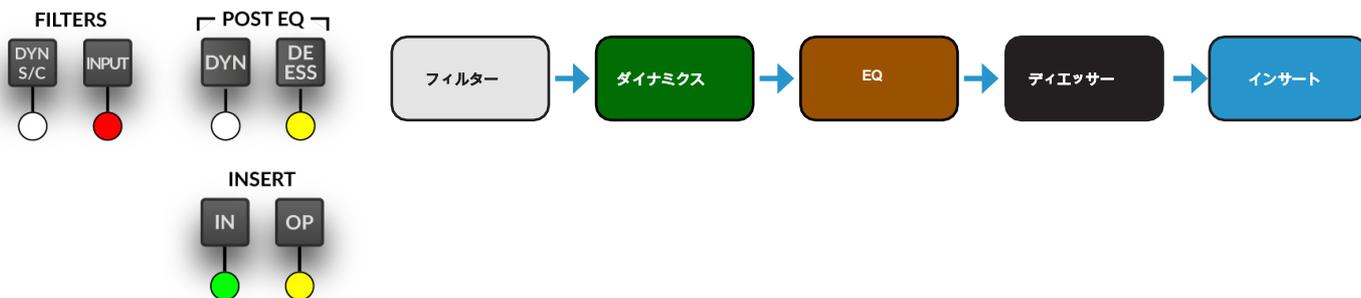
Filters INPUT、INSERT OP、DYN POST EQ、DE-ESS POST EQ



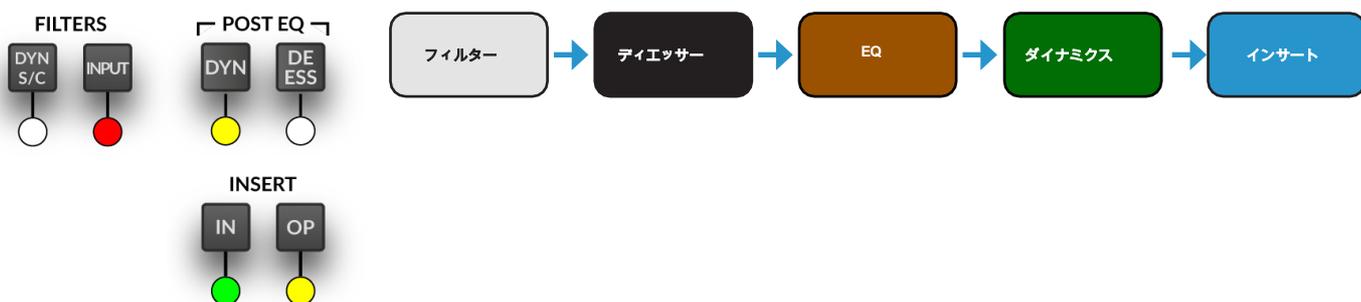
Filters INPUT、INSERT OP



Filters INPUT、INSERT OP、DE-ESS POST EQ



Filters INPUT、INSERT OP、DYN POST EQ

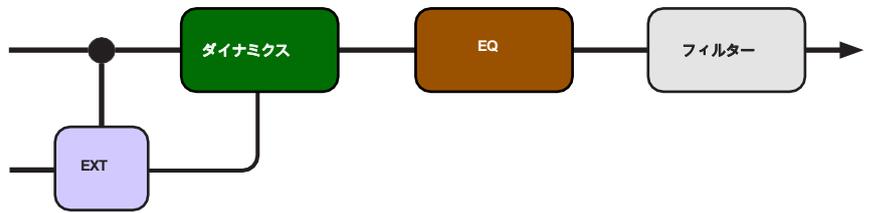


サイドチェーン処理

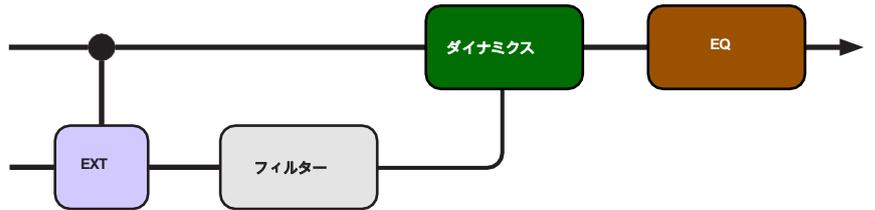
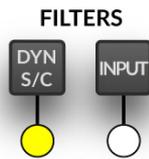
EQとフィルターは、それぞれのセクションにあるDYN S/Cスイッチを使用して、ダイナミクスサイドチェーンに割り当てることができます。以下の表は、さまざまな組み合わせにおけるサイドチェーンソースと処理順序を示しています:

デフォルト

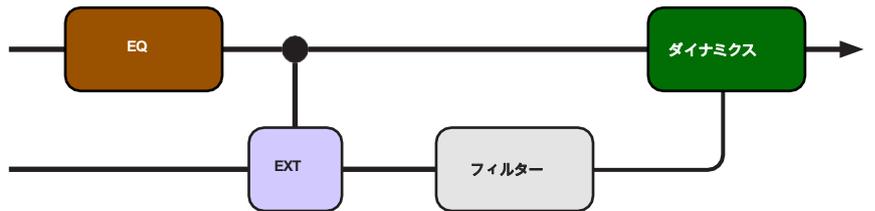
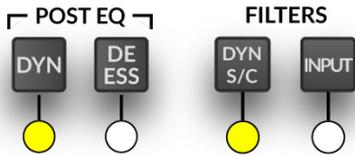
S/C ボタンが押されていません



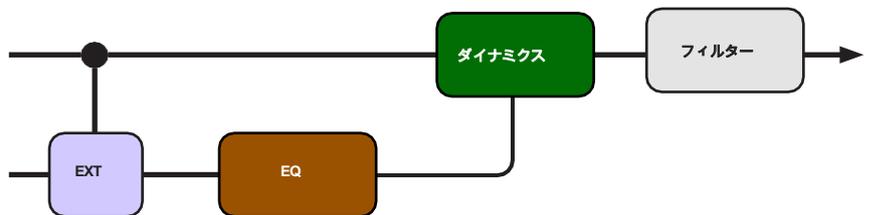
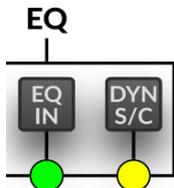
FILTERS DYN S/C



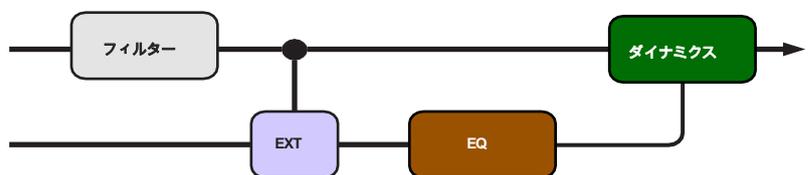
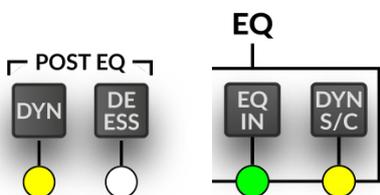
FILTERS DYN S/C、DYN POST EQ



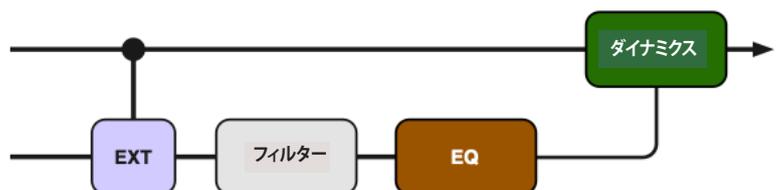
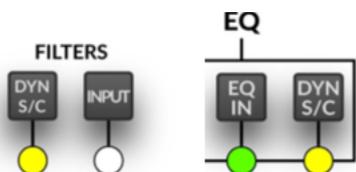
EQ- DYN S/C



EQ-DYN S/C、DYN POST EQ



FILTERS DYN S/C、EQ- DYN S/C



仕様

コネクタの詳細

マイク入力

位置：背面パネル	
コネクタタイプ：XLR メス	
ピン	
1	シャーシ
2	オーディオ +ve
3	オーディオ -ve

出力

位置：背面パネル	
コネクタタイプ：XLRオス	
ピン	
1	シャーシ
2	オーディオ +ve
3	オーディオ -ve

ライン入力

位置：背面パネル		
コネクタタイプ：コンポ XLR ジャック		
ピン		
1	Sleeve	シャーシ
2	Tip	オーディオ +ve
3	Ring	オーディオ -ve

ダイナミクス サイドチェーン入力（外部）

位置：背面パネル		
コネクタタイプ：コンポ XLR ジャック		
ピン		
1	Sleeve	シャーシ
2	Tip	オーディオ +ve
3	Ring	オーディオ -ve

インサートセンド

位置：背面パネル	
コネクタタイプ：TRSジャック	
ピン	
Tip	オーディオ +ve
Ring	オーディオ -ve
Sleeve	シャーシ

インサートリターン

位置：背面パネル	
コネクタタイプ：TRSジャック	
ピン	
Tip	オーディオ +ve
Ring	オーディオ -ve
Sleeve	シャーシ

サイドチェーンリンク

位置：背面パネル	
コネクタタイプ：TRSジャック	
ピン	
Tip	リンクバス
Ring	Diconnected
Sleeve	Ground

TRS または TS ジャックを使用できます

サイズ等

幅	482.6 mm / 19 インチ
高さ	43.18 mm / 1.7 インチ (1 RU)
奥行	276.86 mm / 10.9 インチ
重量	3.74 kg / 8.25 ポンド
箱入り寸法	609.6 mm × 83.82 mm × 335.28 mm (24" × 3.3" × 13.2")
箱入り重量	4.88 kg / 10.76 ポンド

電源

電源	100VAC
動作電力	20 ワット

オーディオ性能

デフォルトのテスト条件（特に指定のない場合）

テストセットのソースインピーダンス:50Ω

テストセットの入カインピーダンス:100kΩ

基準周波数：1 kHz

基準レベル：0 dBu

測定値は、20 Hz から 20 kHz の帯域制限付きで、単位はdBu

クリッピングの開始点（ヘッドルーム測定用）は、1% THD+N

すべてのレベルは、特に明記されていない限りバランス接続を想定

ライン入力（特に明記されていない場合）

TRIM は中央位置（0 dB）

ゲインは最小に設定

すべての数値には±0.5dBまたは5%の許容誤差があります。'typical'と記載されている場合、許容誤差は5%を超える場合があります。

マイク入力からインサートセンド

測定	値	条件
ゲイン	+20 dB から +70 dB（標準） 独立して切り替え可能な 20 dB パッド	
入カインピーダンス	1.3 kΩ	
最大入力レベル	>23.2 dBu	+20 dB（パッド使用時）
ノイズフロア（Unweighted）	<94.5 dBu	20 dB、Unweighted、20 Hz - 20kHz、 150Ω終端
EIN（A-weighted）	<-130.6 dBu	70dB、A-weighted、20 Hz - 20kHz、 150Ω終端
周波数特性	±0.175 dB	20 Hz ~ 20 kHz
THD+N	<0.01%	-25 dBu 入力、45 dB ゲイン 1 kHz
CMRR	>100.9 dB >98.9 dB	50 Hz 1 kHz

ライン入力からインサートセンド

測定	値	条件
ゲイン	-20 dB から +20 dB 0 dBでセンタークリック	
入カインピーダンス	10 kΩ	
最大入力レベル	>27.6 dBu	ユニティゲイン
ノイズフロア（Unweighted）	<-94.9 dBu	0 dB、Unweighted、20 Hz - 20kHz、 150Ω終端
周波数特性	±0.035 dB	20 Hz ~ 20 kHz
THD+N	<0.01%	20 dBu 入力、0 dB ゲイン 1 kHz

インサートリターンからアウトプット

測定	値	条件
インピーダンス	10 k Ω	
最大入力レベル	>27.4 dBu	0 dB
ノイズフロア (Unweighted)	<97.4 dBu	0 dB、Unweighted、20 Hz - 20kHz、150R終端
周波数特性	± 0.035 dB	20 Hz ~ 20 kHz
THD+N	<0.01%	20 dBu 入力、0 dB ゲイン 1 kHz

チャンネルアウトプット

測定	値	条件
ゲイン	-20 dB から +20 dB 0 dB センタークリック	
出カインピーダンス	70 Ω	
最大出力	27.4 dBu	0 dB

EQコントロール

2つの異なるカーブセットを切り替え可能な4バンドEQです。1つはSSLの02 (『ブラウンノブ』) EQをベースにしたもので、もう1つは242 E-シリーズ (『ブラックノブ』) EQをベースにしたものです。ハイパスフィルターとローパスフィルターも搭載されています。

HFバンドコントロール	パラメーター範囲
周波数	1.5 kHz から 16 kHz まで可変
ゲイン	± 15 dB の範囲で可変 『02』 ± 18 dB の範囲で可変 『242』
Q (『BELL』 設定時)	0.8 『02』 1.3 『242』

HMFバンドコントロール	パラメータ範囲
周波数	600 Hz から 7 kHz まで可変
ゲイン	± 15 dB 『02』 ± 18 dB 『242』
Q	0.5 から 2.5 『02』 0.5 から 4 『242』

LMFバンドコントロール	パラメータ範囲
周波数	200 Hz から 2.5 kHz まで可変
ゲイン	± 15 dB 『02』 ± 18 dB 『242』
Q	0.5 から 2.5 『02』 0.5 から 4 『242』

LFバンドコントロール	パラメータ範囲
周波数	30 Hz から 450 Hz まで可変
ゲイン	± 15 dB の範囲で可変 『02』 ± 18 dB の範囲で可変 『242』
Q (『BELL』 設定時)	0.8 『02』 1.3 『242』

EQ回路

測定	値	条件
ノイズ (Unweighted)	-81.5 dBu (標準値)	0 dB、Unweighted、20 Hz - 20 kHz、150Ω終端
THD+N	-81.8 dBu (標準値)	0 dB、0 dBu出力、1 kHz

フィルターコントロール

フィルター	パラメーター範囲
ローパス周波数	3 kHz から 16 kHz (-3 dB ポイント)
ローパススロープ	12 dB/オクターブ
ハイパス周波数	20 Hz から 500 Hz (-3 dB ポイント)
ハイパススロープ	12 dB / オクターブ 『02』 18 dB/オクターブ 『242』

フィルター回路

測定	値	条件
ノイズ (Unweighted)	-97.8 dBu (標準値)	0 dB、Unweighted、20 Hz - 20kHz、150R終端
THD+N	-97.1 dBu (標準値)	0 dB、0 dBu出力、1 kHz

ダイナミクスコントロール

本機ダイナミクスセクションは2つの領域に分けられます：コンプレッサー/リミッターとエキスパンダー/ゲート

コンプレッサー/リミッターコントロール	パラメーター範囲
Ratio	1から無限大∞ (リミッター) まで可変
Threshold	+4 dBから-26 dBまで可変
アタックスロープ	通常「ソフトニー」、ハードニーに切り替え可能
アタックタイム	通常 20 dB あたり 30 ms、3 ms に切り替え可能 (「Fast Att」)
リリースタイム	0.1秒から4秒まで可変
リリーススロープ	通常「ログ」、「リニア」へ切り替え可能

コンプレッサー/リミッターには、2つの異なるアタックスロープと2つの異なるリリーススロープがあります。それぞれ「ソフトニー」と「ハードニー」、および「ログ」と「リニア」です。これらのモードは、その名前が示すように、入力信号への応答方式に影響を与えます。2つのモードを組み合わせることで、4つの非常に異なるコンプレッサー/リミッティングモードを実現し、『Hard Knee』と『Linear』の組み合わせでは、最大の圧縮特性を発揮します。

エキスパンダー/ゲートコントロール	パラメーター範囲
Range	0から40 dBまで可変
Threshold	-30 dB から +10 dB まで可変
アタックタイム	通常 40 dB あたり 1.5 ms、100 μs に切り替え可能
リリースタイム	0.1秒から4秒まで可変

サイドチェーン信号は、ダイナミクスセクションに供給される信号または外部サイドチェーン入力から選択可能です。フィルターとEQをサイドチェーンに挿入できます。

ダイナミクス回路

測定	値	条件
ノイズ (Unweighted)	-76.7 dBu (標準値)	0 dB、Unweighted、20 Hz - 20 kHz、150Ω終端
THD+N	-76.9 dBu (標準値)	0 dB、0 dBu出力、1 kHz

ディエッサー回路

4000 Bシリーズコンソールのチャンネルコンプレッサー「ds」モードに忠実なシンプルながら非常に効果的なワンノブ式ディエッサーが搭載されています。固定比率10:1と7kHzのフィルター処理されたサイドチェーン信号を採用し、歯擦音を処理します。

リリース時間は入力信号に依存し30～50msの範囲です。アタック時間は2msです。LEDメーターでディエッサーの量を表示します。

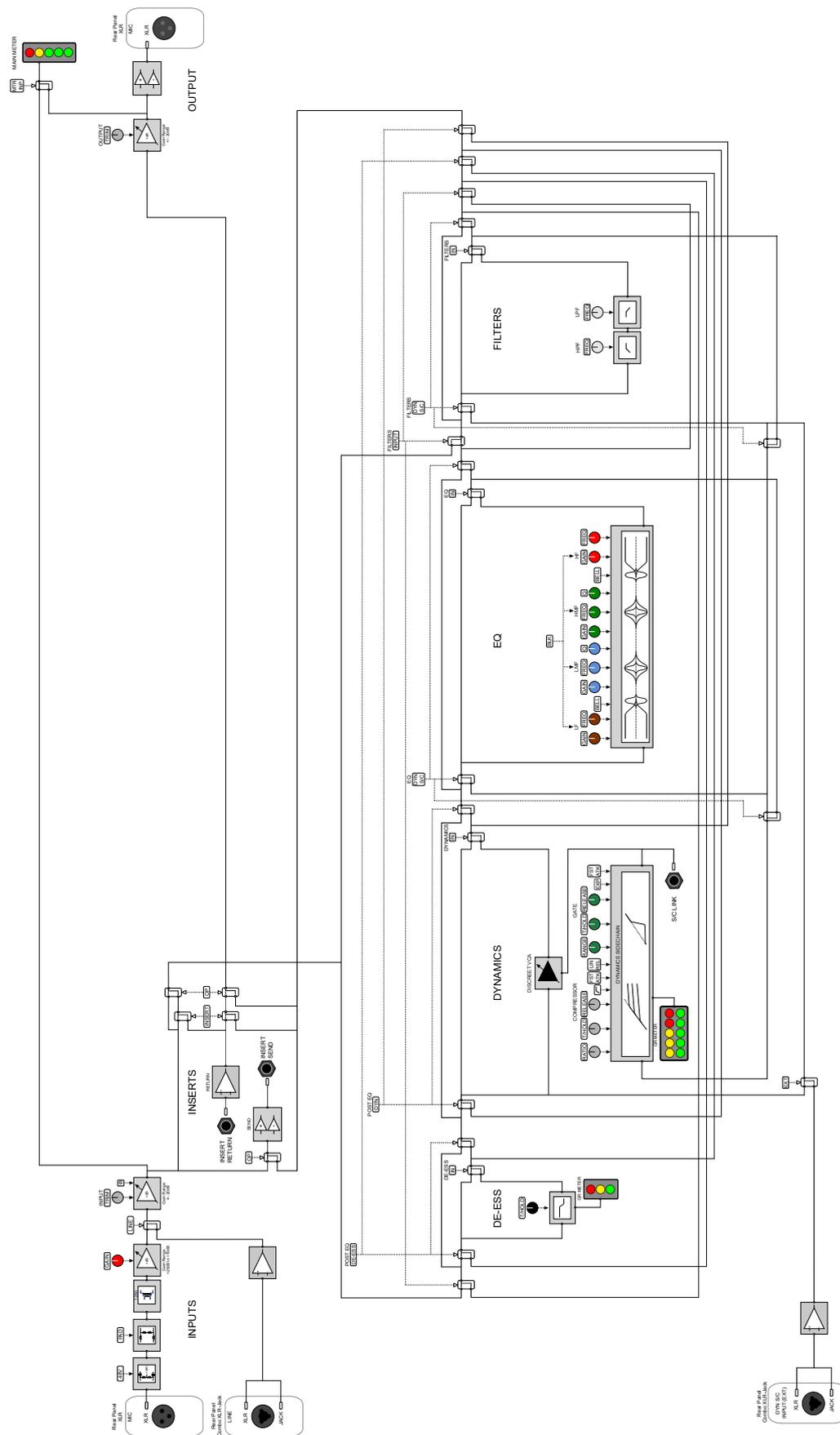
ディエッサーコントロール	パラメーター範囲
Threshold	+10 dBから-20 dBまで可変

ディエッサー回路入力

測定	値	条件
ノイズ (Unweighted)	-89.2 dBu (標準値)	0 dB、Unweighted、20 Hz - 20kHz、150Ω終端
THD+N	-88.6 dBu (標準値)	0 dB、0 dBu出力、1 kHz

Block Diagram

Revival 4000
V1.1
26/06/25
Drawn By: JW



安全に関する注意事項

安全に関する重要な情報

- ・この文書をよく読んで、保管し、すべての警告および指示に従ってください。
 - ・この機器は、指定された用途以外には使用しないでください。
 - ・使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
 - ・機器が故障した場合は、ご購入の販売店に連絡してください。
 - ・この機器は、ほこり、水、湿気、または他の液体、薬品類から保護してください。
 - ・清掃時は、機器の電源をOFFにし、乾いた布または電気機器に適した製品のみを使用してください。
 - ・熱源の近く、直射日光の下、または裸火の近くなど周辺温度の高い場所で使用しないでください。
 - ・振動や高周波雑音や電磁波が発生している場所では使用しないでください。
 - ・機器の上に乗ったり重い物を置かないでください。
 - ・製造元が推奨する付属品/ケーブルのみを使用してください。
 - ・雷雨時または長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
 - ・この機器を改造しないでください。改造は性能、安全、または国際規格への準拠に影響を与える可能性があります。
 - ・機器が水や液体にさらされた場合、または正常に動作しなくなった場合は、直ちにメンテナンスを依頼してください。
 - ・弊社は、無資格者による分解、メンテナンス、修理、または改造による損害について責任を負いません。
 - ・機器を使用する際は安定した水平面に設置するか、標準の19インチラックに固定してください。ラックマウントの場合、すべてのラックネジを固定してください。
 - ・通気口を塞がないでください。装置の周囲に十分な通気スペースを確保し、冷却を妨げないようご注意ください。
- ラックマウント時は、装置の上下部に1Uの隙間を空けることを推奨します。ラックにマウントする際は、最大動作温度を超えないようにしてください。
- ・通気口から内部に異物を落とさないでください。
 - ・機器を落下させないでください。
 - ・機器に接続されたケーブルに過度の負荷がかからないようにしてください。すべてのケーブルは、踏んだり、引っ張ったり、つまずいたりしない場所に配置してください。機器の移動時は接続されたケーブルを全て外してください。
 - ・人命に直接関わる医療機器や極めて高い信頼性を要求されるシステム内(高度な放送通信、幹線通信、電算機システム)では使用しないでください。
 - ・この機器は内部にユーザーが修理可能な部品はありません。製品に異常や損傷が生じた場合は、ご購入の販売店を通じて、Solid State Logicまでご連絡ください。修理またはメンテナンスは、資格を有するサービス技術者によってのみ行われます。



[注意!]

電源の安全

- この機器には電源コードが付属していますが、お好みの電源コードを使用する場合は、以下の情報をご確認ください。
- 機器の背面にある定格ラベルを確認し、必ず適切な電源コードを使用してください。本機は必ず接地してください。60320 C13 タイプソケットを使用してください。電源コンセントに接続する際は、地域の電気規格に適合した適切なサイズの導線とプラグを使用してください。
- 最大コード長は4.5m（15フィート）です。
- コードには、使用国の承認マーク(PSEマーク)が記載されていることを確認してください。
- 障害物のない壁のコンセントに接続してください。
- 中性導体が接地電位にある単相電源にのみ接続してください。
- ラックに取り付ける際は、接地が確実であり、電源が過負荷になっていないことを確認してください。

- 警告:
- オーディオの入出力ポートへの接続はケーブルのシールドとデバイス間の低インピーダンス接続を確保するため編組シールドケーブルと金属製コネクタを使用してください。

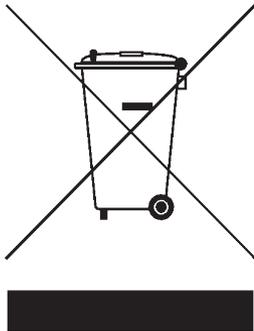
環境温度

動作時: +1°C~+30°C 保管時: -20°C~+50°C

詳細は www.solidstatellogic.com をご覧ください。

WEEE告知

この製品またはパッケージに表示されている記号は、この製品を他の廃棄物と一緒に処分してはならない事を示しています。電気電子機器をリサイクルのために指定された収集場所に引き渡して廃棄物を処分するのは、ユーザー様の責任です。リサイクルのための廃棄物機器の持ち込みに関する詳細情報はお住まいの地域の市役所、ごみ処理サービス、または製品を購入した店舗までお問い合わせください。



UK
CA

この製品は、以下のイギリス法規制に準拠しています：
イギリス電気機器（安全）規則 2016（SI 2016/1101）
イギリス電磁両立性規則 2016（SI 2016/1091）
エネルギー関連製品（ErP）のエコデザイン要件 2009/125/EC
電気電子機器における特定有害物質の使用制限指令（RoHS2）2011/65/EU

CE

この製品は、以下の欧州連合調和立法に準拠しています：
EU低電圧指令（LVD）2014/35/EU
EU電磁両立性指令（EMC）2014/30/EU
エネルギー関連製品（ErP）のエコデザイン要件 2009/125/EC
電気電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2）2011/65/EU

電磁両立性

BS EN 55032:2015、クラスB、BS EN 55035:2017

電気安全

IEC 62368-1:2018、BS EN IEC 62368-1:2020+A11:2020、CSA CAN/CSA-C22.2 No. 62368-1 第3版、UL 62368-1 第3版
AS/NZS 62368.1:2022、GB 4943.1-2022、J62368-1(2023)、SASO-IEC 62368-1:2020

FCC 認証

この装置は、FCC規則の第15部に準拠しています。動作は、以下の2つの条件に従う必要があります：

- (1) この装置は有害な干渉を引き起こしてはなりません、および
- (2) この装置は、受けた干渉（不要な動作を引き起こす可能性のある干渉を含む）をすべて受け入れる必要があります。

ユーザー様へ

このユニットを改造しないでください！この製品は、取扱説明書に記載されている指示に従って設置した場合、FCCの要件を満たしています。

重要：この製品は、他の機器と接続する際、高品質のシールドケーブルを使用した場合にFCC規制に準拠しています。高品質のシールドケーブルを使用しない場合、または設置手順に従わない場合、ラジオやテレビなどの家電製品に電磁干渉を引き起こす可能性があり、米国でのこの製品の使用に関するFCC認証が無効になります。

この機器は、FCC規則第15部に準拠し、クラスBデジタル機器の制限値に適合することが確認されています。これらの制限値は、住宅環境での使用において有害な干渉から保護するための合理的な保護を提供するように設計されています。この機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源をオン/オフして確認できます）、ユーザーは次の措置の1つまたは複数を試して干渉を修正するよう推奨されます：

- 受信アンテナの方向を変更するか、移動してください。
- 機器と受信機との距離を離す。
- 機器を受信機と異なる回路のコンセントに接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

製品保証について：

本製品の保証は日本国内の正規販売店よりご購入の最初の購入者が対象となります。

保証期間はご購入から1年間で、材料および製造上の欠陥に対して保証されます。

サービスまたは保証に関するお問い合わせは、この製品を購入した販売店を通じてご連絡ください。

ご連絡の際には、製品名及びシリアルナンバー、購入日の確認できる物（販売店発行のレシートなど）をご用意ください。

ただし、以下の場合は保証対象外となります。

- ・本マニュアルに記載されている注意事項に反する設置や使用を行った場合
- ・取り扱い時の過失による損傷や故障
- ・風水害、地震、火災、落雷などの天災や、郊外などの外的な要因による故障
- ・AC100V以外の電圧での使用による故障
- ・海外で使用された際の故障
- ・当社サービス部以外による修理や部品交換または改造による損傷や故障
- ・接続した他の機器に起因する故障
- ・お買い上げ後の運搬、移動時の落下等で生じた故障及び損傷
- ・商品名やシリアル番号の記載されたシールを改変または故意に剥がした形跡のある製品
- ・特定の機器と接続したときのみ発生する動作不具合

この保証は譲渡できません。

製品が不正使用により損傷または欠陥が生じたと判断した場合、当社は修理費用を顧客に請求する権利を有します。

当社及びSolid State Logicは、製品の使用により発生した不都合、製品の使用不能、時間の損失、操作の中断、商業的損失、またはその他の損害（偶発的、結果的、その他の損害を含む）に基づくいかなる損害についても責任を負いません。

注意事項

このマニュアルは、Revival4000の使用に関する一般的な情報、使用前の準備、インストール手順、および操作方法について説明しています。

このマニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。

当社及びSolid State Logicは、本マニュアルに含まれる誤り、または本資料の提供、履行、使用に起因する直接的、間接的、付随的、または結果的な損害について、一切の責任を負いません。

ソリッドステートロジックジャパン株式会社

151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14

